１人１台端末を活用した自殺等対策の取組事例について

◆ 相談窓口の表示（福岡市教育委員会）

○ １人１台端末のホーム画面にアイコンを表示し、アイコンをクリックまたはタップすると、市教育委員会のSNS相談窓口のQRコードや、電話相談窓口（24時間子供SOSダイヤル、チャイルドライン、子どもの人権110番等）の電話番号が表示されるようにしている。

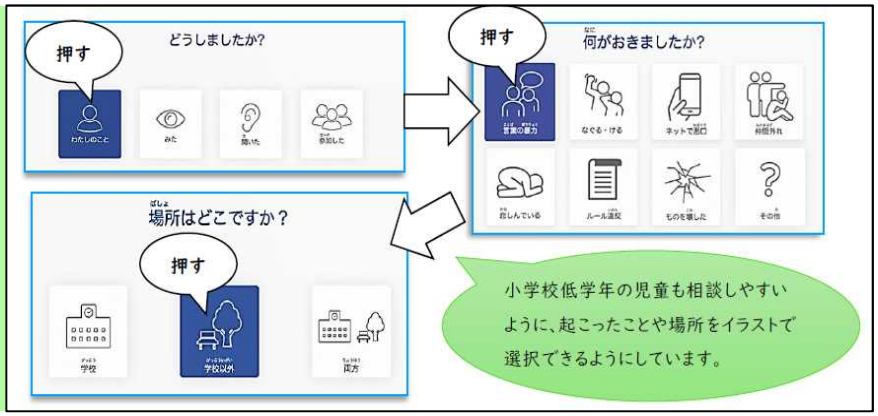
◆ 学校生活等アンケートの実施（福島県新地町教育委員会）

○ １人１台端末を活用して、いじめ・不登校に関するものを含む学校生活等についてのアンケートを実施し、校務支援システムから得られる保健室の利用状況や出欠等の情報とあわせて、児童生徒の心身の状況の把握や支援に役立てている。

◆ メッセージ・Web会議システムによる相談（熊本市教育委員会）

○ １人１台端末に標準装備されているアプリ（ロイロノート）のメッセージ機能を利用して、児童生徒が担任等の教員に相談できるようにしている事例や、Web会議システム（Zoom）を活用し、１人１台端末を通じて、担任等の教員やスクールカウンセラーによるオンラインカウンセリングを行っている事例もある。

◆ SOSの発信（大阪府吹田市教育委員会）

○ いじめ防止相談ツール「マモレポ」を活用し、低学年でも児童生徒が学校や市教育委員会に対して、１人１台端末からSOS（いじめ等で困っていること）を発信できるようにしている。

○ 学校や市教育委員会は、相談内容に応じて対応を検討し、児童生徒とのやりとりや見守り等を実施。